

# 「山形県農林水産研究開発方針」の見直しについて(案)

## 見直しの背景

### 「第4次山形県総合発展計画」 実施計画[R2～6]

概ね10年間の県づくりの方向性を示す「第4次山形県総合発展計画」(長期構想)に掲げた政策・施策の推進に向けて、重点的に取り組む事業の方向性を示した(令和2年3月策定)。

山形県版まち・ひと・しごと創生総合戦略としての性格を有する。

#### ●実施計画5つの政策の柱

- 1 次代を担い地域を支える人材の育成・確保
- 2 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
- 3 高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
- 4 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
- 5 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用

#### ●農林水産分野の主な取り組み

- 1 やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成
- 2 収益性の高い農業の展開
- 3 「やまがた森林ノミクス」の加速化
- 4 付加価値の高い水産業の振興

### 山形県農林水産業振興計画 [H29～R8]

山形県農業基本条例(平成13年10月県条例第52号)の下、概ね10年間の本県農林水産業と農山漁村が目指すべき方向と施策展開の方針等を明らかにするもの(平成29年3月策定)。

#### ●基本方針

- 1 農林水産業・農山漁村を持続的に発展させる基盤の強化
- 2 消費者ニーズに応える競争力の高い産地づくり
- 3 食産業全体での付加価値の最大化
- 4 農林水産業が担う美しく活力ある農山漁村づくり
- 5 農林水産業・農山漁村を支える県民等の参加促進

#### ●施策の展開方向

- 1 発展を支える人材の育成・確保
- 2 生産性の持続的向上のための基盤整備
- 3 生産性向上とブランド力向上のための生産技術開発
- 4 関係機関との連携による生産や経営等に対する総合的な支援

#### ●取組の展開方向

- 1 農林水産業を取り巻く変化に対応した技術開発
- 2 進化する新たな技術を活用した農林水産業の推進

### 第3次農林水産業元気再生戦略 [H29～R2]

「地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業」の実現に向け、これまでの成果を土台にし、さらに取組みを加速、発展させるため、「山形県農林水産業振興計画」の実行計画として、今後の4年間の取組みの方向性を示した(平成29年3月策定)。

#### ●基本戦略

- 1 多様な人材が活躍できる農業経営の実現
- 2 水田農業の収益性の向上
- 3 「園芸大国やまがた」の実現
- 4 県産農林水産物の魅力の向上と販売促進
- 5 畜産業の競争力強化
- 6 「やまがた森林ノミクス」の推進
- 7 水産業のさらなる振興

⇒66プロジェクト中の各分野それぞれに試験研究による技術開発を位置づけ

### 第4次戦略(案) [R3～6]

第4次総合発展計画で掲げた政策・施策の展開の方向性を踏まえ、今後10年間程度を見据えつつ、直近4年間(R3～R6)の具体的なプロジェクトを掲げる農林水産分野の「実行計画」として明確化するもの。

#### ●基本戦略

- 1 意欲ある多様な担い手の育成・確保 [人づくり]
- 2 活気あるしなやかな農村の創造 [農村づくり]
- 3 魅力ある稼げる農林水産業の追求 [魅力づくり]
- 4 「やまがた森林ノミクス」の加速化 [森林づくり]
- 5 水産業の成長産業化 [海川づくり]

⇒各分野のプロジェクト中に試験研究による技術開発を位置づけ

見直し作業中

現在の県計画・戦略等の概要

#### 構造・生産基盤の変化

・生産者の減少と高齢化 ・担い手の規模拡大 等

#### 社会・経済環境の変化

・新型コロナウイルス流行に伴う経済環境の変化並びにその対策における生産方式や生活様式の変化 等

#### 自然環境の変化

・「持続可能な開発目標(SDGs=Sustainable Development Goals)」の達成 ・家畜伝染病の多様化 等

#### 技術の進展

・ICT、ロボット技術、AI等先端技術の発展 ・DNAマーカー等育種技術の急激な進歩 等

### 第3次科学技術政策大綱 [H28～R2]

#### 基本理念

科学技術で創り出す、活き活きと豊かな山形県の未来(あした)

#### 基本目標

- ・時代を先取りした研究開発の推進による新たな「知」の創出
- ・科学技術の未来(あした)を担う人材の輩出
- ・本県産業の「強み」を生み出す知的財産戦略の推進
- ・活力ある豊かな県民生活の実現に向けた新たな「知」の移転・活用

### 第4次科学技術政策指針(案) [R3～R7]

#### 基本理念

イノベーション創出による山形と世界のウェルビーイング【幸福】

#### 基本目標

- ・新たな時代に対応した社会実装につながる研究開発の推進
- ・やまがたの産業を担う科学技術人材の育成・確保
- ・山形の未来を見据えた知的財産戦略の推進
- ・研究成果の迅速な移転・活用による豊かな県民生活の実現

見直し作業中

## 見直しの趣旨

研究開発方針については、策定後の情勢変化等に対応するため、概ね5年後に見直すこととしており、前回は28年3月に見直し作業を行った。

その後5年が経過し、担い手の減少・高齢化のさらなる進展、中山間地域農業の活力低下等に加え、SDGsの推進や新型コロナウイルス流行など大きな社会情勢の変化を踏まえ、今般見直しを行う。

## 見直しの基本的な考え方

本県の基盤産業である農林水産業が将来にわたって持続的に発展していくため、今後の施策の方針である「第4次山形県総合発展計画」や「山形県農林水産業振興計画」、さらに、新たな「第4次戦略」の検討を踏まえ、向こう5カ年間(令和3年～7年)の本県農林水産業を技術面で支える研究開発の基本方向と、円滑な研究等を推進するための基本的な方策を定める。

農林水産業を取り巻く状況を踏まえた対応

# 山形県農林水産研究開発方針見直しスケジュール(案)

